

## 第22回日本バイオセーフティ学会 総会・学術集会 開催案内

第22回日本バイオセーフティ学会総会・学術集会  
会長 國島広之（聖マリアンナ医科大学感染症学講座 主任教授）

ご挨拶

この度、「第22回目の日本バイオセーフティ学会 総会・学術集会」を担当させていただくことになりました。会期は2023年11月23日(祝)から25日(土)にプレカンファレンスならびに総会・学術集会の3日間、会場は東京（戸山サンライズ、新宿区）での開催を予定しております。

2019年に発生した新型コロナウイルス感染症は、未曾有のパンデミックとなり、国民や社会全体、地域の医療機関で感染症対策を模索しています。新型コロナウイルス感染症は改めて未知の感染症がいつでも起こりうること、バイオセーフティの重要性について、私たちに多くの教訓をもたらしました。本学会は病原体等の取り扱いにおける安全管理運営、安全装置及び実験施設設計等のバイオセーフティに関する学術研究の推進並びにバイオセーフティの普及を図り、バイオセーフティの向上発展に寄与することを目的としています。今後もバイオセーフティに関わる多くの新しいエビデンス・知見の必要性が叫ばれ、産官学の連携も含め、如何に情報の共有を行っていくかが益々重要になっています。より一層の医学教育の充実、感染症の診療、研究の発展、次世代の専門家の育成が急務となっており、コロナ渦においても「バイオセーフティ専門家講習会」も継続的に実施しています。

本学術集会では、シンポジウムならびに教育講演 機器・機材展示及び企業からの製品紹介講演を予定しております。ぜひ多くの一般演題のご応募をお待ちしており、活発かつ有意義なディスカッションをお願いできれば幸いです。

本総会・学術集会がわが国における更なるバイオセーフティ発展の重要な機会となることを期待し、一人でも多くの方々にご参加いただくことを祈念いたしております。

一般演題、企業プレゼンテーション募集締め切り：2023年9月29日（金）

参加費：会員 10,000 円 非会員 12,000 円

一般演題・企業プレゼンテーション・企業展示・講演抄録集広告の募集につきましては、JBSA 学会ホームページをご参照ください。

<https://jbsa-gakkai.jp/meeting/index.html>